

授業科目名	イタリア語講読 I	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	森 雅史	単位	1	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

- ・イタリア語における文法（初歩）への理解を深める。
- ・辞書を用いて、簡単なイタリア古典歌曲等の大意を訳すことができるようになる。
- ・訳した内容からイタリアにおける音楽や詩を中心に芸術分野に関する理解を深める。

＝履修の条件と学習の方法＝

イタリアの文化、音楽に興味を持っていること。
 イタリア語の基礎 I・II、ならびに会話 I と会話 II を履修済であることが望ましい。

＝授業の概要＝

- ・イタリア語文法（初歩）の練習問題を解きながら、文法のルールについて確認する。
- ・辞書を用いて、短いイタリア語の文章の日本語翻訳から始め、様々な分野における簡単な文献やイタリア古典歌曲等まで訳す内容の幅を徐々に広げて行く。
- ・日常のイタリア語の観点から楽語についても解釈を試みる。

＝授業計画＝

- 第1回 ガイダンス：シラバス（授業の目標や内容の確認）
- 第2回 文法（最初歩）の確認
- 第3回 文法（初歩）の確認
- 第4回 文法（初歩）の確認、簡単な文章を訳す練習
- 第5回 文法（初歩）の確認、簡単な文章を訳す練習
- 第6回 文法（初歩）の確認、簡単な文章を訳す練習
- 第7回 文法（初歩）の確認、楽語解釈講座
- 第8回 文法（初歩）の確認、様々なジャンルの短い文献を訳してみよう
- 第9回 文法（初歩）の確認、様々なジャンルの短い文献を訳してみよう
- 第10回 文法（初歩）の確認、様々なジャンルの短い文献を訳してみよう
- 第11回 文法（初歩）の確認、楽語解釈講座
- 第12回 文法（初歩）の確認、イタリア古典歌曲を自分の言葉で訳してみよう
- 第13回 文法（初歩）の確認、イタリア古典歌曲を自分の言葉で訳してみよう
- 第14回 文法（初歩）の確認、イタリア古典歌曲を自分の言葉で訳してみよう
- 第15回 筆記試験

＝テキスト（必携）＝

特に無し

＝参考書・参考資料（必携）＝

伊和中辞典

＝成績評価の方法と評価の基準＝

筆記試験（50％）と出席状況・授業態度（50％）

=その他=